
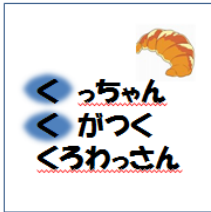


大項目	読むこと
小項目	ひらがなの読み
タイトル (教材名)	あっちゃんあがつく 食べ物かるた
目的	ひらがなの書かれた 食べ物かるたで「ひらがな」に興味をもつ
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>食べ物のイラストが描かれた『あっちゃんあがつく』というかるたを用い、歌に合わせて取り合いっこをする中で、文字に親しみをもち、「もっととりたい!」という気持ちに繋げる。</p> <p>文字を把握したいという主体性を高め、文字学習の導入とする。</p> <p>①『あっちゃんあがつく』かるた 取り札（できれば複数枚用意） ②『あっちゃんあがつく』かるた 読み札（できれば複数枚用意）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: right;">(イメージ図)</p>
使用方法 (提示の仕方)	<p>①ルールや方法の説明をする 例の読み札と取り札を1枚用意し、教師が見本で読む。 (ふしにあわせてうたいながら)</p> <p>②2～4人でグループをつくり、活動をする。</p> <p>③可能であれば、読み人を輪番等、変えていくのもよい。</p> <p>④プリント学習を取り組む。 (1)「く」をなぞる(または、書く) (2)「く」をさがしてつかまえる (○をつける)</p>
その他	<p>・はじめは、時間を計らずにタワーを完成させることで見通しをもちやすくすると良かった。</p> <p>・学習への苦手感のある児童への活動の導入として(A)心理的安定を図ったり、手先が不器用な児童が(B)バランスを取ったり巧緻性を高めたりする活動、目と手の協応、などを狙いとしておこなっている。</p> <p>参考 「たべものかるた あっちゃんあがつく」(さいとうしのぶ作、リーブル、2007)</p>